



(被災当時の状況)
damaged status by the earthquake



修復前 before restoration



修復後 after restoration

千手観音菩薩立像

Standing Thousand-Armed Avalokitesvara

木造
像高 268.1 cm
平安～鎌倉時代 12～14世紀
千光寺 熊本

Wood
H 268.1 cm
Heian-Kamakura period, 12-14th century
Senko-ji Temple, Kumamoto

古文書の記録等によると、龍池山千光寺は、15世紀前半以降（室町時代）に創建された由緒ある寺院であるが、明治以降、同寺のある下陳地区の住民が管理している。

本像は、同寺の本尊として祀られ、長らく住民の手で守られてきた。制作は平安時代末期（一説には鎌倉時代）とされ、寺の創建時に他の寺院から移されたものと考えられている。

2016年の熊本地震により、寺の山門・本堂は全壊し、本像は無残にも足元から折れ、多くの部材が破損した。しかし、信仰心の篤い下陳地区の人々は、震源地にもかかわらず人的被害が少なかったのは「観音さまのお蔭」との思いから、家屋の倒壊等被災直後の傷跡の癒えぬなか、いち早く像の救出と修復に乗り出した。本像はまさに地域住民の心の拠り所であり、震災復興のシンボルとして早急な修復が期待されたもので、被災の翌年から開始した修復は2ヵ年で完了した。

※ 30年記念展覧会展示